

農山漁村の

女性・高齢者の

活動を応援します！



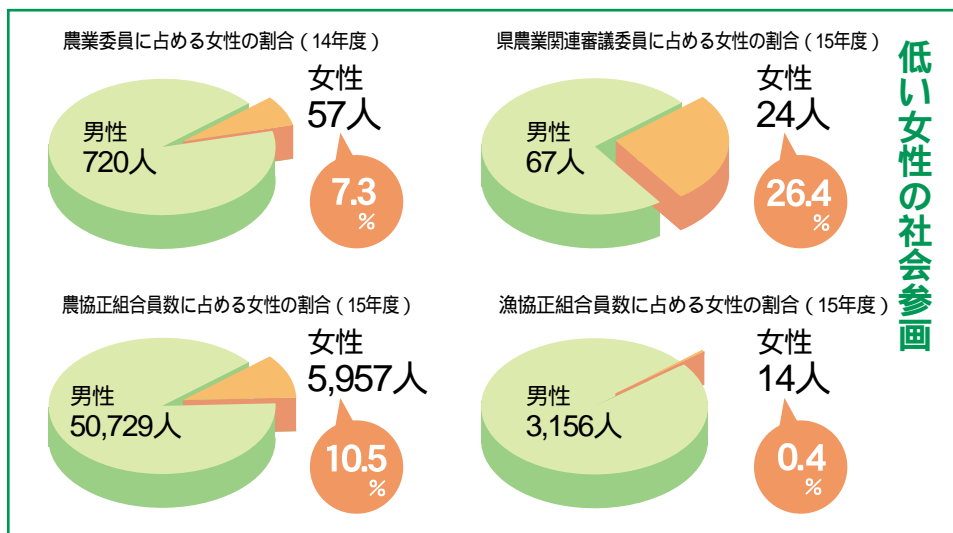
農山漁村の女性・高齢者は、本県の農林水産業の重要な担い手であり、農林水産業振興及び地域の活性化に大きく貢献しています。

このような状況の中、本県では、平成14年度に「沖縄県農山漁村男女共同参画ビジョン」並びに「沖縄県農山漁村高齢者ビジョン」を策定し、農山漁村の女性や高齢者がいきいき活躍できるよう様々な施策を展開しています。

ととも
男女にチャレンジ！
農山漁村の男女共同参画社会を目指して

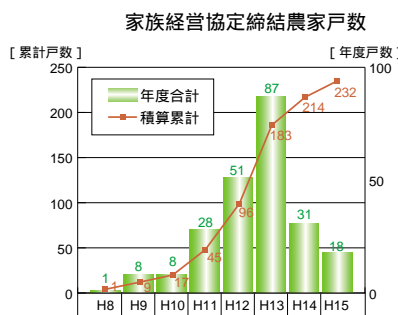
農山漁村における
男女共同参画の現状

低い女性の社会参画



芽生えつつある
女性の経営参画

女性起業家・グループの増加
一七五件(うち食品加工二〇六件)
家族経営協定農家の増加
二二三戸



家族経営協定とは？
経営の方針や家族一人ひとりの役割(働きやすい環境づくりなど)について、家族みんなで話し合いながら「家族間のルール」を文書にして取り決めることです。

沖縄県農山漁村男女
共同参画ビジョンの策定

県の農業就業人口に占める女性の割合は約四割です。農山漁村における女性は多様な活動を通して、農林水産業振興及び地域の活性化に大きく貢献し、重要な担い手として評価が高まっています。県では、農林水産業の発展や住みよい農山漁村を築くため、男女が能力と個性を十分発揮できる、農山漁村における男女共同参画社会の実現を目指しています。そのため、農林水産業の担い手、関係団体、行政が一体となって取り組める「沖縄県農山漁村男女共同参画ビジョン」を平成十四年度に策定しました。本ビジョンは平成十五年度から二十四年度までの十年間を推進期間とし、四つの推進課題を掲げています。

農山漁村のベストパートナー賞
入賞者

県では、「沖縄県農山漁村男女共同参画ビジョン」に示された男女共同参画社会の実現を目指すための意識啓発活動の一環として、平成十三年度からベストパートナー賞を創設し、四つの部門で賞を授与しています。今年度は、五組のご夫妻がベストパートナー賞に輝きました。

～二人三脚部門～
(役割分担)

普天間信子・春行さんご夫妻

知念村：野菜栽培

農業経営に信子さんの意見をどんどん取り入れる、理解ある春行さん。経営記録に基づく計画的な農業を実践しているベストパートナーです。



～二人三脚部門～
(役割分担)

上地文子・義盛さんご夫妻

今帰仁村：サトウキビ・野菜栽培

役割分担をすることで、地域リーダーとして活躍している文子さん。それを支えている義盛さん。夫婦の絆とパートナーシップが発揮されているお二人です。



～社会参画部門～
(女性の地位向上)

仲松須磨子・益貴さんご夫妻

石垣市：サトウキビ栽培・繁殖牛経営

仲松さん夫妻はそれぞれの個性を発揮し、地域や組織のリーダーとして活躍しています。また、県内初の夫婦連名認定農業者であり、名実備わったパートナーシップ農業の先駆けです。



沖縄県農山漁村男女共同参画ビジョン

わたしもあなたも地域も輝く
農山漁村の男女共同参画社会

基本目標

推進課題

- 男女の個性と自主性を尊重した農漁業経営の確立
- 男女が主体的に能力発揮できる夢のある農漁家生活の実現
- 男女共に築く自然と共生する魅力的な地域づくり
- 男女共同参画社会推進体制の整備



～バトンタッチ部門～
(後継者育成)

多宇サク子・脩さんご夫妻

石垣市：肉用牛経営

多宇さん夫妻は、経営移譲を計画的に進め、スムーズにバトンタッチ。後継者夫妻が農業に専念し、それを支える体制ができています。家族で支え合い歩んできました。



～多角経営部門～
(部門経営)

奥原初枝・栄一さんご夫妻

伊良部町：漁業(鰹)・加工業

漁獲から加工品開発、販売活動に取り組むことで、経営の安定を図っています。また、地域や組織のリーダーとしても活動しているご夫妻です。



ちゃん頑丈で生涯現役

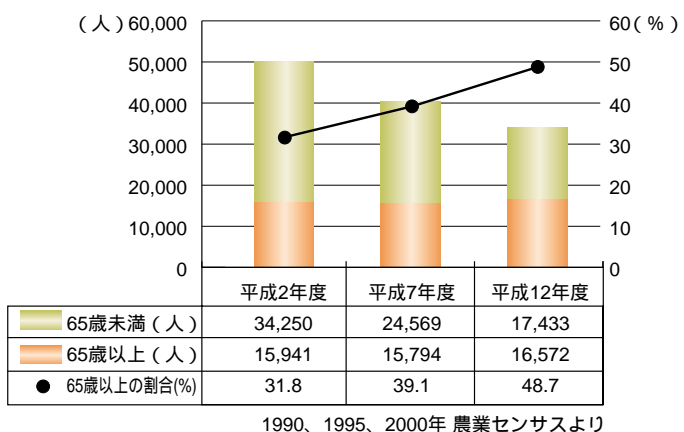
がんじゅう

本県における高齢者の現状

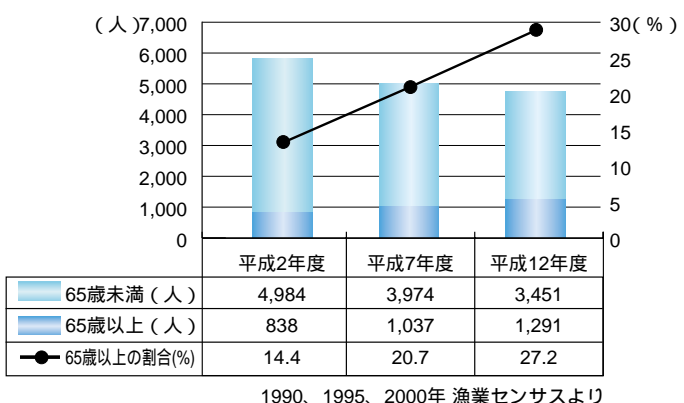
本県でも高齢化は進んでいます。中でも農山漁村の高齢化は、都市部に比較して二十年ほど先行している状況です。

平成十二年の農山漁村における農林漁業担い手の六十五歳以上の割合は、農業就業人口で四八・七％（平成二年の約一・五倍）、漁業就業人口では二七・二％（平成二年の約二倍）となっており、今後も高齢化は加速すると予測されます。

農業就業人口に占める65歳以上の割合



漁業就業人口に占める65歳以上の割合



沖縄県農山漁村高齢者ビジョンの策定

県では、平成九年に沖縄県農山漁村高齢者ビジョン「ちゃん頑丈プラン」を策定し、平成十三年までの間、高齢者が健康でいきいき活躍できる方向性を示し、市町村・関係団体と連携して推進してきました。

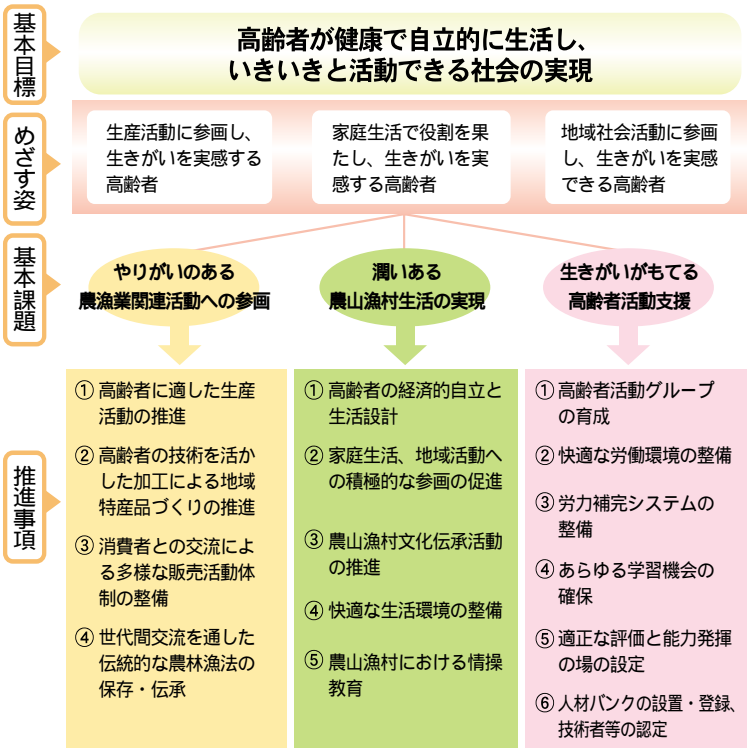
しかし、今後さらに進行すると予測される農山漁村の高齢化に対し、これまで以上に、高齢者が持つ知識・技術等を活かせる活動の場や環境等の整備を継続して支援

する必要があります。そこで、平成十四年度からの十年間、高齢者が健康で自立的に生活し、いきいきと活動できる社会の実現を基本目標とする沖縄県農山漁村高齢者ビジョン「ちゃん頑丈プラン二〇二二」を策定しました。

このビジョンを指針とし、今後とも、農林水産業に関わる高齢者への支援を継続していきます。

ちゃん頑丈プラン2012

高齢者が健康で自立的に生活し、いきいきと活動できる社会の実現



地域で活躍いきいき高齢者

農業を通して知識を伝える

生産活動・世代間交流

「つむかぎ会」(城辺町西中・長南)

城辺町西平・長南の「つむかぎ会」は、ラッキョウ、島ニンジン、ジャガイモを生産し、直売所で販売するほか、学校給食へも供給しています。また、サツマイモの植え付け・収穫や、ジャガイモの収穫を小学校等地域の子とも達と行うな

ど、世代間交流も活発です。収穫した作物を用いて高齢者がジュシーや天ぷらを作り、子ども達に振る舞ったりと、技術だけでなく、昔から伝わる食の伝承も行っています。

地道な活動、住みよい地域づくり

地域活動

「座喜味環境を守る婦人の会」

(読谷村座喜味)



読谷村座喜味の「座喜味環境を守る婦人の会」では、集落の空き地に花を植えたり、住み良い環境づくりを目指し「捨てたらゴミ、生かせば資源」の啓発活動を積極的に行っています。また、空き缶拾いや古紙回収作業を実践し、平成十四年には、収益金を活用して集落の案内板を設置しました。そのほか、河辺環境づくりにも取り組んでいます。どの活動においても地域の住民が刺激を受け、地域ぐるみの活動へと発展しています。

このような長年の活動が評価され、昨年、県知事から都市緑化功労者表彰を、平成十六年度農山漁村いきいきシニア活動表彰では農林水産大臣賞を受賞しています。

野菜の直売市で地域を活性化

直売市活動(本部町新里)



本部町新里では、毎月一回、第一日曜日の午前七時から、新里コミュニティセンターで、野菜作りをしている高齢者が中心となって「朝市」を開催しています。

これは、老人会のメンバーが中心になり、地域活性化に向けて何ができるのか話し合いを重ねた結果によるものです。多くの直売所や地域づくりの事例等を見聞し、朝市の開催に向けて取り組み、平成十三年の七月から開始されました。

朝市には、グリーンアスパラガスやエンサイ、パパイア等の野菜類のほか、農産加工品、花き類及び魚介類など三十品種近い特産品が並びます。早朝にもかかわらず、新鮮で安い野菜等を買求めて、毎回多くの人で賑わっています。

お問い合わせ

県営農推進課

TEL 098 866 2280

FAX 098 866 2309

